

\*\*\*\*\*

**地盤工学会中部支部 イブニングセミナー**  
**「中川運河の今昔・未来」開催のご案内**  
**主催：公益社団法人 地盤工学会中部支部**

地盤工学会中部支部では月 1 回程度のペースで講習会やイブニングセミナーを開催しています。令和元年度は計 7 回を計画しています。今回は、(株)熊谷組の関口龍一氏を講師に迎え、初学者から中級者を対象に「中川運河の今昔・未来」と題した講習会を下記の要領で行います。中川運河の建設の秘話や、名古屋の水運に果たした役割、将来の観光資源としての可能性などをお話していただきます。

多くの方のご参加をお待ちしておりますので、奮ってご参加下さい。

**G-CPD ポイント数：2**

**日 時： 令和元年 10 月 25 日（金曜日），18:00～20:00**

**場 所： 名城大学大学 天白キャンパス 研究実験棟 2 2 階 K-261**

**キャンパスマップ：<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tempaku.html>**

**会 費： 個人会員・特別法人会員 500 円，学生会員 500 円，非会員 1,000 円**

**講演題目： 「中川運河の今昔・未来」**

**講 師： 関口龍一氏 （株）熊谷組**

**講演概要：**

中川運河の歴史は古く、大正 13 年に名古屋市が「都市計画運河網」を決定し、国の事業認可を受け、大正 15 年には起工式が行われ、昭和 7 年に総事業費 1939 万円で完成しています。

昭和 26 年には名古屋港管理組合に管理が移管され、物流最盛期の昭和 39 年に出入船舶 7 万 5 千隻貨物量 401 万 2,277 トンにも達しました。その後、モータリゼーションの普及に伴い、物流量は激減し、水運としての役割はほぼ終わっています。近年、都会の「水辺のプロムナード」として注目されはじめ、名古屋港への定期船の運航や、種々のイベントなども開催されています。

本講演では、運河の歴史的な変遷と未来の可能性についてお話しします。

皆様、奮ってご参加ください。

**申込み方法：公益社団法人 地盤工学会中部支部のホームページよりお申込みください。**

**（\* 特別会員同行者無料特典対象講習会）**

**URL：<http://jgs-chubu.org/191025moushikomi/>**

**（参加費は当日お支払ください。）**

**お申込み期限：10 月 23 日（水曜日）**

**申 込 み 先：地盤工学会中部支部**

**〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 9 番 26 号ポーラビル 8F**

**電話：052-222-3747 FAX：052-222-3773 E-mail：[jibancho@jeans.ocn.ne.jp](mailto:jibancho@jeans.ocn.ne.jp)**

\*\*\*\*\*